

評価結果概要版



令和5年度

通所介護【デイサービス】

利用者調査とサービス項目を中心とした評価手法

法人名称	医療法人社団光生会
事業所名称	八王子市高齢者在宅サービスセンター長房
事業所所在地	東京都八王子市長房町588番長房アパート西22号棟1階
事業所電話番号	042-629-2560

事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）	1)利用者の自立を高め、住み慣れた地域で生活が続けられるように支援する 2)各利用者の有する能力に応じて、自立した日常が送れるように、機能訓練を提供する 3)生産性の向上を目指しできる限りの合理化をして、利用者様へかかわる時間を増やす 4)職員の心理的安全性を確保し、闊達に話し合え柔軟に対応できる理想の職場を目指す 5)食の大切さ、食の楽しみを味わっていただき、栄養、口腔ケアを追求します

全体の評価講評

特に良いと思う点

・広々とした活動室のスペースを生かし、利用者が快適な活動や安心して静養ができる環境を整えている

南向きで広々とした活動室は安全性と快適さに配慮して環境を整えている。個別の機能訓練や集団活動、静養など各スペースでの活動を全体として見通せるような配置にしている。午前の来所時には利用者同士ができるだけ交錯せずに移動できるように、直線の移動経路上に荷物や上着を預ける場所を設定している。室内は植物を飾ったり、BGMを流すなどして、利用者が思い通りに快適に過ごせるように配慮している。静養スペースは落ち着いて休めるようフロアの奥に設定し、フロアや事務所から随時様子を確認できるよう使用するベッドの配置に留意している。

・個々の利用者が自身の意向に合う機能訓練に取り組めるよう、多職種が連携してバラエティに富んだ訓練プログラムを提供している

豊富な機能訓練プログラムを提供し、利用者の動作能力の維持向上を支援している。個別訓練は訓練指導員との運動や6台の訓練マシンを使用した筋力アップ等の訓練を提供している。また近隣のスーパーやコンビニエンスストアへの歩行訓練や利用者宅の段差に合わせた昇降動作の訓練など、生活上の課題に即した訓練を実施している。集団での運動は通信カラオケの介護予防リハビリプログラムを活用して音楽に合わせた体操やゲーム、作業療法的な装飾物の制作等を行っている。今後も充実したりリハビリ活動の実践に向け様々なコンテンツの活用を検討している。

・ICT（情報通信技術）を活用し、効率的に業務を進められる環境を整えている

職員それぞれの職種で使用できるパソコン、タブレット、スマートフォンを整備している。介護職員については全員分のスマートフォンを整備し、情報の収集・共有および入力作業もスマートフォンでできるようにしている。個々の利用者のケース記録や職員間での情報共有のためのツールを電子化し、必要時にすぐ確認でき情報共有や記録に関する業務の効率化を図っている。また、クラウド型ビジネスチャットツールでの情報共有も試行しており、来年度より本格導入を予定している。

さらなる改善が望まれる点

・職員が心理的安全性を持って常に提案でき、創意工夫をして、時代のニーズに応えられる通所介護事業所を目指す 職員相互に意見を交わし、時代のニーズに応えられる組織と体制を研究工夫して構築することを目標としている。

そのためには一人ひとりが心理的安全性を持って業務に臨み、議論を重ねることのできる職員集団を作り上げることが必要となる。常に提案できる環境の整備、話し合いをもとに創意工夫し、さらなる時代のニーズに応えられる通所介護事業所を目指している。

・ **地元町会や関係機関と連携し、住民の健康や生活状況が向上する取り組みを進めていくことに期待する**

当事業所は地域の自治会等との連携や地域情報の共有、相談の受け付けなど地域と一体となった運営に取り組んでいる。新型コロナウイルス感染症の流行期には活発な地域交流ができない状況にあったが、今年度は併設の相談機関と連携して事業所施設や前庭を利用し団地のふれあい祭りを開催、「体組成」「体力測定」「花壇づくり」等のイベントを実施している。今後も地域に必要とされる事業所として一層の連携、交流の充実に向けた取り組みに期待する。

。
。

事業者が特に力を入れている取り組み

・ **職員一人ひとりが考えて取り組むための仕組みを整備し、事故に対する意識を高めている**

リスクマネジメントに関しては、どんな些細な事故でもセンター長に報告することとしている。事故報告書の提出を求めたものに対しては、法人に一報し詳細は「事故報告書」を提出している。ヒヤリハットについては、スマートフォンですぐに入力できるようにして、効率化を図るとともに職員の危険に対する意識を高めている。事故報告書の裏面が事故防止委員会の記録となっており、担当した職員が事故に関しての対応策を検討することになっている。職員一人ひとりが考えるための仕組みを整えている。

・ **利用者が楽しみながら主体的に参加できるよう、幅広い活動の提供に取り組んでいる**

行事や活動の内容はアクティビティ委員会で検討し、企画・実施している。活動は季節ごとの装飾の制作や手芸教室、カラオケ等の音楽活動、パズル・トランプ・かるた等の脳トレや各種ゲームなど豊富に用意して提供している。手芸では年間を通して一つの作品の制作を企画することもあり、目的意識をもって取り組むことで完成時に大きな達成感を味わうことができている。事業所の玄関や各所に利用者が作成した作品が展示され、高い完成度が見て取れる。利用者自身が興味のある活動を選択し参加できるよう多様な活動の提供に取り組んでいる。

・ **家族との詳細な連絡や情報交換を通して連携を図り、利用者の在宅生活を支援している**

家族との連絡帳である「絆ノート」にはサービス利用時の活動内容や身体状況、食事・入浴の状況、連絡事項等を記載している。また、職員が協力し合って当日の活動に取り組む個々の利用者の様子の写真を添え、通所中の詳細な状況を知らせている。利用者の細かい変化も連絡し、家族からの伝言や質問には必ず返答して、相互の連携ツールとして活用している。また、送迎時やサービス担当者会議で顔を合わせる時や随時の電話連絡の際も情報共有や意向の把握に努めている。利用者が在宅生活を継続していくために家族との連携した支援に力を入れている。

利用者調査結果

有効回答者数/利用者総数

88/116

はい どちらともいえない いいえ 無回答・非該当

1. 利用時の過ごし方は、個人のペースに合っているか	81.0%	12.0%	いいえ：2.0% 無回答・非該当：3.0%
2. 日常生活に必要な介助を受けているか	79.0%	6.0%	11.0% どちらともいえない：2.0%
3. 利用中に興味・関心が持てる行事や活動があるか	68.0%	19.0%	6.0% 5.0%
4. 個別の計画に基づいた事業所での活動・機能訓練（体操や運動など）は、在宅生活の継続に役立つか	90.0%	5.0%	いいえ：0.0% 無回答・非該当：3.0%
5. 職員から適切な情報提供・アドバイスを受けているか	80.0%	14.0%	いいえ：2.0% 無回答・非該当：2.0%
6. 事業所内の清掃、整理整頓は行き届いているか	90.0%	7.0%	いいえ：0.0% 無回答・非該当：1.0%
7. 職員の接遇・態度は適切か	93.0%		どちらともいえない：4.0% いいえ：0.0% 無回答・非該当：2.0%
8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	78.0%	17.0%	どちらともいえない：3.0% いいえ：1.0%
9. 利用者同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	57.0%	17.0%	25.0% いいえ：0.0%
10. 利用者の気持ちを尊重した対応がされているか	90.0%	6.0%	いいえ：0.0% 無回答・非該当：2.0%
11. 利用者のプライバシーは守られているか	90.0%	5.0%	いいえ：1.0% 無回答・非該当：2.0%
12. 個別の計画作成時に、利用者や家族の状況や要望を聞かれているか	85.0%	9.0%	いいえ：1.0% 無回答・非該当：4.0%
13. サービス内容や計画に関する職員の説明はわかりやすいか	90.0%		どちらともいえない：3.0% いいえ：1.0% 無回答・非該当：4.0%
14. 利用者の不満や要望は対応されているか	79.0%	7.0%	11.0% いいえ：1.0%
15. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	53.0%	15.0%	27.0% いいえ：3.0%